

T O P I C S	
<p>近代解放運動史研究 梅川文男とプロレタリア文学</p> 	<p>2008年6月～12月 三重大学の主な出来事 (三重大学広報誌「Flash News」より) 詳しい情報を知りたい方は、下記アドレスのページをご覧ください。 http://www.mie-u.ac.jp/home/flash/index.html</p>
<p>尾西康充 著 和泉書院／2008 367ページ 3,000円(税別)</p> <p>戦後、松阪市長を3期11年務めた梅川文男(1906～1968)の評伝。松阪市で開かれた生誕100年記念行事の際に旧宅から発見された小説家・島木健作からのハガキ3枚を紹介するなど、プロレタリア詩人であった梅川の足跡を明らかにする最新の研究成果が盛り込まれた増補改訂版。終戦の年に41歳で死去した島木に関する資料が発見されたことは、全国ニュースになりました。労働組合と農民組合、水平社が連携した「三角同盟」として知られる戦前松阪の社会運動史を研究するためにも、また三重県内の文学史を研究するためにも必読の書。表現の自由が著しく制限された時代、自由と平等を求めて激しく闘った梅川の生涯は、現代の格差社会を生き抜くための手がかりを与えてくれます。</p>	<p>第60号</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「地域イノベーション学研究所」の設置を申請 ●「産学官連携戦略展開事業(戦略展開プログラム)」採択 ●伊賀拠点「サテライトキャンパス」の起工式 ●「野村證券・百五銀行・創業革新プロジェクト研究室」の設置 ●平成20年度にっほん食育推進事業「教育ファームモデル実証地区」の選定 ●講演会「それってアートDVじゃない!?～楽しい恋愛をしよう～」 ●平成20年度「みえメデイカル研究会総会」 ●三重大学第1回全学FD ●学生安全対策セミナー ●東紀州(紀南)広域防災拠点施設活動訓練に参加 ●知的財産表彰式 <p>第61号</p> <ul style="list-style-type: none"> ●池坊文部科学副大臣が三重大学を視察 ●知事トークinキャンパス ●三重大学男女共同参画宣言 ●陸上競技部の水口さん、ロボコンクラブ「M3RC」を学長表彰 ●第2回三重大学国際交流週間2008 (2nd International Week at Mie University 2008)を開催 ●日本フルプライドメモリアル基金による米国教育者が三重大学を訪問 ●ハリウッドフィルムエディターが語る「ハリウッド映画製作最新事情」 ●「ストリートオルガン」演奏会開催 ●平成20年度生物資源学部渡邊文二奨学生が決定 ●大学院工学研究科長選出 <p>第62号</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新学長候補者に内田淳正教授が選出される ●文部科学省の平成20年度「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」に採択 ●文部科学省の平成20年度「大学院教育改革支援プログラム」に採択 ●「パールの輝きで、理系女性が三重を元気に」キックオフシンポジウムを開催 ●生物資源学研究所がダブルディグリー制度 「総合的食料生産・管理計画学プログラム」に調印 ●天津師範大学創立50周年記念式典に桜の苗木を寄贈 ●生物資源学研究所附属練習船命名・進水式 ●第8回国際環境シンポジウム四日市公害から学ぶ「四日市学」 ●コラボ産学官三重支部設立総会 ●平成20年度産学連携「技術者育成講座」 ●附属病院小児科病棟夏祭り ●オープンキャンパス ●「日本語・日本文化研修留学生(2007年度生)研究成果発表会」 ●平成20年度教員免許更新予備講習 ●風車でかき氷 ●「2008年度サマースクール」 ●高大連携事業 ●練習船「勢水丸」に海上保安庁から感謝状 ●教育学部附属小学校音楽クラブ「NHK全国学校音楽コンクール」出場 ●附属病院DMATが三重県総合防災訓練に参加 ●地域・職域保健医療支援センター開設記念講演会「医療を活かす地域のちから」 ●レクチャーコンサート「オペラにみる愛さまごま」 <p>第63号</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文部科学省の平成20年度「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に採択 ●文部科学省銭谷事務次官が三重大学を視察 ●三重大学全学同意会を設立 ●学長表彰 ●「男女共同参画とイノベーション」を開催 ●授業方法改善研修会(第3回全学FD) ●勢水丸ラスタクルーズ ●就職指導者研修会(第4回全学FD) ●ISO14001の継続審査 ●教育学部長候補者選出 <p>第64号</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成21年度新執行部体制について ●文部科学省「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業」に採択 ●国際教育推進プランにかかる実地調査 ●「第15回3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2008」に参加 ●法人評価・訪問調査終了 ●CIO (chief information officer) 講座を開催 ●「三重大学共通教育特別講演会」を開催 ●秋のミニオープンキャンパスを開催 ●附属中学校音楽部の活躍 ●附属小学校音楽クラブの活躍 ●みえ産学官研究交流フォーラム2008 ●国際インターンシップ報告会を開催 <p>第65号</p> <ul style="list-style-type: none"> ●独立大学院「地域イノベーション学研究所」の設置について ●三重大学リサーチセンターがスタート ●三重大学学長特別表彰式・講演会開催「独りぼっちの木の根運動-OのないNGO-」 ●先端医療開発特区(スーパー特区)に採択 ●和歌山大学と連携協議会および研究発表会を開催 ●附属中学校と天津市実験中学との交流 ●大紀町と相互友好協力協定締結 ●「事務局避難訓練」を実施! ●「青少年のための科学の祭典」第6回三重大学大会 ●教育改善研究会(第5回全学FD) ●「院内防火訓練」を実施 ●「第2回三重大学学内職伝大会」を開催 ●医学部附属病院長選出 ●生物資源学研究所長選出
<p>史料纂集古文書編『朽木家文書』第二</p>  <p>藤田達生・西島太郎 編 八木書店／2008 238ページ 13,000円(税別)</p> <p>本書は、鎌倉時代以来、近江国朽木荘(滋賀県高島市)を本領として勢力をもった大身旗本・朽木氏(9千石)の当主家に伝来した中世・近世古文書を、はじめて解説したものです。収録史料には、戦国時代の地域社会階層との取納をめぐる競合関係を示す史料群や、朽木荘内外諸地域の年貢・加地子取納に関する帳簿群が含まれています。また海外史料から存在が指摘されていた江戸幕府が最初に発布した慶長11年(1606)のキリシタン禁令や、元和2年(1616)を画期として強化される関所での女性や男童の検問に関係する史料が含まれることも特筆されます。中世後期の在地領主制研究、近世初期の政治史研究における基礎史料集として位置づけられます。</p>	



編集後記

国立大学の法人化に際して、本学は、「三重から世界へー地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出すー」をミッションとして掲げ、改革を進めてきました。このことは、今日では広く使われるようになった「グローバル(グローバルとローカルの造語)」を、本学は5年前から実践してきたと言えます。本号は、中部電力の三田社長と学長との対談を企画しました。本対談を通じて、両者ともにグローバル精神の下に地域の発展に貢献しているをご理解頂ければ幸いです。